



教えて!

# 暮らしと産業を支えるダムの役割

私たちの生活にダムは  
欠かせない存在なんだね!



## 役割 01 産業を支える

### 工業用水

本市には、銅山川3ダムから年間約2.6億m<sup>3</sup>の水が送られており、製紙業を始めとする産業を支える重要な資源となっています。そのうち、新宮ダムからの年間送水量は約1億m<sup>3</sup>で、そのほとんどが工業用水として市内の工場で使われています。



## 役割 02 農業を支える

### かんがい用水

新宮ダムの水は、農作物を育てるために畑や田んぼへ引かれる「かんがい用水」としても活用されています。田畠を潤し、雨の少ない時期や渇水期でも必要な水を安定して供給することで、米や芋などの豊かな農産物の収穫を支えています。



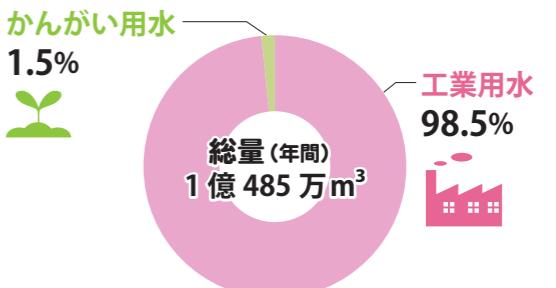
## 役割 03

### 洪水被害を軽減する治水

台風や集中豪雨のときは、ダムに一時的に水を貯めることで下流の水位上昇を抑え、洪水被害を軽減します。



### 新宮ダム 水の使われ方



## インタビュー



愛媛県公営企業管理局  
松山発電工水管理事務所  
銅山川支所長  
やまな  
山名茂彦さん

## 電気で暮らしを支える 新宮ダム

愛媛県では、新宮ダムを含む銅山川3ダムに、4つの水力発電所を設置しています。新宮ダムの水は、ダム湖に掘られた約3・6メートルのトンネルを通り、金田町金川にある銅山川第三発電所へ送られます。その間に生じる約180メートルの落差を利用して発電される電力は、最大出力1万1700キロワット、年間発電量は約4800万キロワットトアワーに達します。これは、標準家庭約1万2000世帯が1年間に使用する電力に相当します。

新宮ダムの水は、電力とともに、クリーンエネルギーとして温室効果ガスの排出抑制にも貢献しています。



回転力を発電機で電気に変える



水の勢いを使って水車を回し、回転力を変える



新宮ダムから取水した水は、最大直径2.4mの水圧鉄管を通じて水車に送られる

## 新宮

### ダム湖の名前が決まりました！

その名は

“きりのもり湖”



大西市長、鵜飼所長を始めとするダム関係者が、ダム湖の名称決定を祝福した



新宮町に手漉き和紙工房を構える大西満王さんが、ダム湖の名前を揮毫した



「霧の森 秋の収穫祭」で、来場者が気に入ったダム湖の名前に投票した

## 名付けで深まる ふるさとへの思い



新宮わくわく食堂 代表  
鈴木秀明さん  
(新宮町上山)

きっかけは「ダムカレー」でした。地元のお母さんたちが営む食堂で、ダムカレーを提供できないかと考えていた時、新宮ダム湖には名前がないことに気付いたのです。そこで、50周年を記念してダム湖に名前を付けることを、鵜飼所長に提案しました。実は、私が小学生の頃、旧

新宮の魅力が  
詰まつたダムカレー

新宮村の「花」と「木」を住民から募集する企画があり、私の案が選ばれた経験があります。まちづくりに参加した私は、故郷を思つ気持ちになりました。つながら、大人になつても心に残るものです。今回の新宮ダム湖の名付けも、多くの方に新宮ダム、そして新宮のことを思つていただける機会になれば嬉しく思います。

新宮地域の新たなシンボルとなるダム湖の名前を市民の皆さんと共に決めるこの企画には、498件の応募が寄せられ、11月2日の「霧の森秋の収穫祭」で、人気投票を行いました。

中学校の「新宮かがやき発表会」で、紙のまちミツマタ大使の大西満王さんが、決定した名前を揮毫して披露しました。

新しい新宮ダム湖の名前は「きりのもり湖」。市民の皆さんの思いが詰まつたこの名前が、地域の愛着と誇りを育み、新たな魅力を生み出すことが期待されます。

